

光★メーター2 MITSU-METER



日本中が見守った11日間の天下が待望の書籍化！

あたりまえ。
だけど知らないストーリー。

長岡京市のホームページで全話公開中！



みつめーたー

光 Meter とは？

天正10年（1582）6月2日、明智

光秀が織田信長を京都の本能寺で討ちま

した。のちに「本能寺の変」と呼ばれる

事件です。その後、6月13日、光秀は山
崎と勝龍寺城の間で羽柴秀吉との戦いに
敗れ、逃げる最中に落ち武者狩りにあい、
命を落としました。これが、光秀について
よく知られているストーリーです。

しかし、本能寺の変から、山崎合戦ま
でには1日間という隙間の時間がありま
す。その間、彼はどこで、なにをしてい
たのでしょうか。ぼーっとしていたのでしょ
うか。そんなことはありません。光秀は

信長亡きあの天下を治めるために、目
まぐるしく動いていたのです。

光★メーターは、そんな、光秀の長いよ
うで短い1日間のカウントダウンを刻む、
四コマ漫画です。皆様には、刻々と迫る
終わりを感じながら、躍動する光秀の姿
をご覧いただき、光秀や、その周辺にい
た人物、時代背景、その他諸々の学習の
きっかけとしていただければ幸いです。



天正 10 年 6 月 2 日 本能寺

信長：ん？ もう朝かいな。

織田信長がスマートフォンで何か動画を見ています。動画のタイトルは「光-meter」



信長：この「光-meter」っておもしろいな～。

つい見すぎてしまつたわ。けど実際にあったら怖いな～。

おや、外が騒がしいですね。



光秀：敵は本能寺にあり～！！

信長：え？ まじかよ・・・。

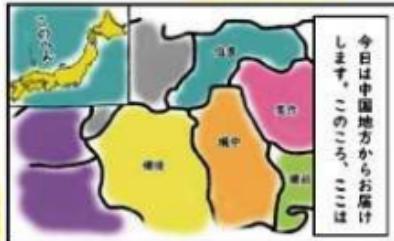
四コマ漫画
「光-meter」
第2期 始動

第2期のはじまり、はじまり



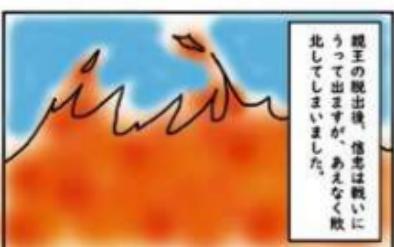
10日

六月三日



11日

六月二日



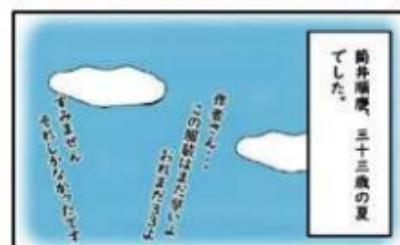
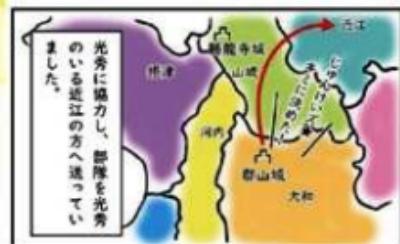
作者 第二期のはじまり、はじまり。

やりましたね。先生。

編集者



六月五日



六月四日



アシスタント

先生。絵はこんな感じで大丈夫でしょうか？

いいでしょう。 作者



六月七日



この日、秀吉は姫路にまで帰ってきておりました。



姫路城に着いた秀吉はなにかを探し始めました。



どうやら、金銀財宝が入っているところを探していたようです。



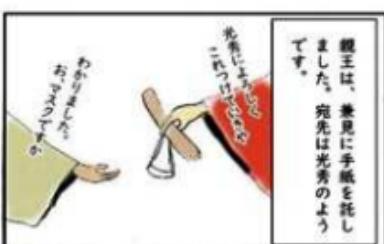
秀吉は部下の苦労をねぎらい、金銀財宝を配りました。



今日は京都からお届けします。吉田義見がどこへ向かっています。



義見を呼んだのは誠仁親王でした。



親王は、義見に手紙を託しました。宛先は光秀のようです。



手紙には、何と書いてあったのですか？

編集者

先生。なんか作風変りました？

そうですか？問題ないと思いませんが・・・

作者

六月八日

光-meter の登場人物たち

(名前・天正 10 年時点の年齢・ひとこと)



吉田 兼見 48歳
京都の吉田神社神主です。
日記を書いています。



細川 忠興 20歳
細川藤孝の息子です。春の
お玉さんと会えなくてつらい。



細川 藤孝(由秀) 49歳
忠興の父です。光秀さんは
親友だと思ってます。でも。。。



誠二 稲王 31歳
次の天皇候補や。本能寺の変
の時はほんま死ぬか思たわ。



里村 駿巴 58歳
光秀さんと藤孝さんの遊び
仲間です。特技は運転です。



筒井 順慶 34歳
大和(奈良県)の代将者です。
光秀さんには世話をになりました。



明智 光秀 68歳?
みんなまきこんじゃって
ごめんね。



羽柴 秀吉 46歳
中国大返し中やで。天下は
おしのもんじゃい。

アシスタント

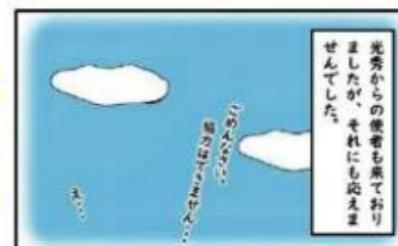
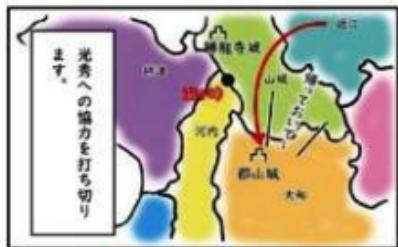
先生。吉田兼見むづかしいです。

がんばってください。

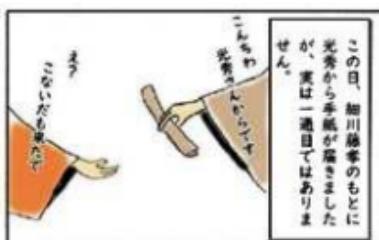
作者



六月十日



六月九日



編集者

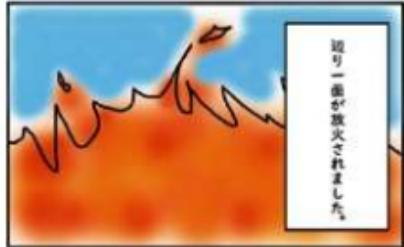
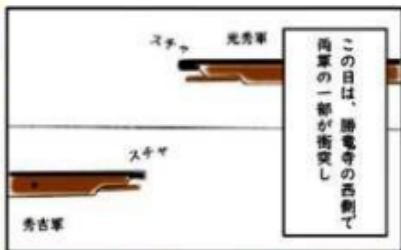
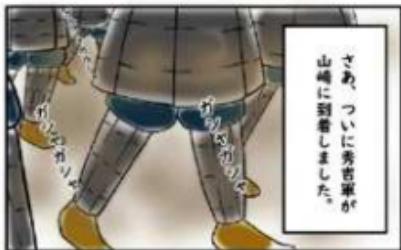
ところで、先生は仕事中に漫画描いてるんですか？

そうです。いいんです。

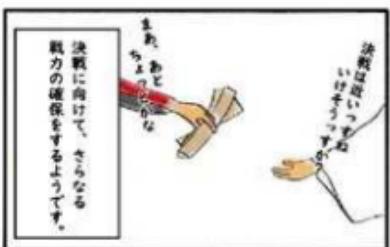
作者



六月十二日



六月十一日



編集者

現地取材も仕事中に行くんですか？

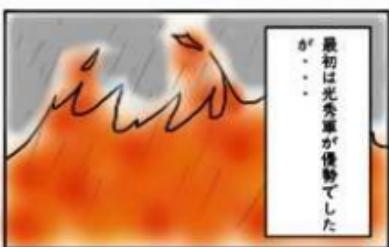
さすがに休みの日に行きます。

作者

六月十四日



六月十三日



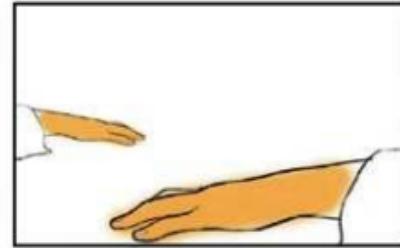
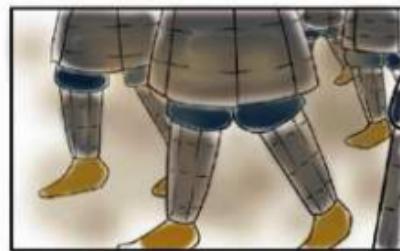
作 者

もう、終ありか。この仕事だけやりたい・・・

先生、次はアナザーストーリーでいきましょう！

編集者

エンディング



Fin



四コマ漫画「光-meter」
元ネタはコレだ! part3
『明智光秀と近江・丹波』
分国支配から「本能寺の変」へ

福島克彦 サンライズ出版

明智光秀といえば、やはり本能寺の変ですが、そこに至るまでに、織田信長のもとで彼が行ったことは数多くあります。その中でも丹波の攻略は光秀にとって大きな事業でした。

この書籍では、丹波攻略の前段階から、攻略が完了するまで、そして、完了後の支配のあり方までが、分かりやすく紹介されています。

あまり知られていないけれども、光秀にとって色々な意味をもつた「丹波攻略」について知るには、この本を攻略することから始めてはいかがでしょう。

制作担当(一)





（発行）

長岡市教育委員会 文化財保存活用課（図書館3F）